

様式1 (第6条関係)

2024年6月4日

(あて先) 一宮市長

所在地 一宮市栄3丁目1番2号 i-ビル3階団体名 いちのみやを守る会代表者名 一宮 太郎

## 一宮市市民活動サポート補助金企画提案書

一宮市市民活動サポート補助金の交付を受けたく、要綱第2条第2項で規定する市民活動団体の要件を全て満たしているため、第6条の規定により、下記のとおり提出します。

## 記

補助金の申請区分 〔該当する部門を一つ選択し、○で囲んでください。〕	1 <input checked="" type="radio"/> スタート支援部門 (1回のみ) (補助率 10分の9) 2 <input type="radio"/> 若者支援部門 ( ___回目) (補助率 10分の10) 3 <input type="radio"/> ステップアップ部門 ( ___回目) (補助率 ___分の___)
事業の名称	特殊詐欺対策啓発事業
事業実施期間	2024年8月1日から 2024年11月30日まで
事業の分野	⑨地域安全事業
当該事業における市からの他の補助金等の有無	有 (補助金等の名称: ) ・ <input checked="" type="radio"/> 無

2024年7月1日～  
2025年1月31日  
の間で記入してください。

※1 申請区分は、同一事業で何回目の申請か、回数と補助率を記入してください。

※2 事業の分野は、特定非営利活動促進法(平成10年法律第7号)別表に掲げる①から⑳までの事業のうち、企画内容にもっともあてはまるものを1つ選択してください。

## 添付書類

- 一宮市市民活動サポート補助金申請に係る団体調書(様式2)
- 一宮市市民活動サポート補助金申請事業に係る計画書(様式3)
- 一宮市市民活動サポート補助金申請事業に係る収支予算書(様式4)
- 団体の規約その他これに類するもの

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4(片面印刷)とする。

様式2 (第6条第1号関係)

## 一宮市市民活動サポート補助金申請に係る団体調書

団体名	いちのみやを守る会		
団体の市内事務所 の所在地	〒 491-0858 一宮市 栄3丁目1番2号 i-ビル3階		一宮市内に事務所(活動拠点) があることが補助の条件です。
代表者名	一宮 太郎		
設立年月	2023年 5月	会員数※ともに活動をする人 (うち、30歳未満)	8人 (2人)
ホームページ	<a href="https://138cc.org/">https://138cc.org/</a>		
連絡先(書類送付先 及び担当者) ※この申請に関する 問合せに対応できる方	(書類送付先) 〒 491-8501 一宮市 本町2丁目5番6号	市からの連絡を受け取る担当者の 連絡先を記入してください。 (E-mail アドレスは、データを受け取れるもの)	
	(担当者氏名) 一宮 花子		
	電話 0586-23-8883		
	E-mail info@138cc.org		
団体の活動目的	(団体の設立目的や活動目的を記入してください。) 昨今の特殊詐欺被害損害額の増加を受け、一宮市民の方が犯罪被害を受けないように、危機管理意識を高めてもらうことを目的に活動している。		
主な活動内容	(現在の主な活動内容を記入してください。) ・町内会を通じて高齢者の方に参加してもらい、演劇を交えた解りやすい講座を催す。 ・講座を年4回催す予定。		
主な活動実績	(過去の主な活動実績を記入してください。) Youtube で特殊詐欺対策の動画を投稿中。		
一宮市市民活動支援センターへの当該団体の登録の有無について	有 ・ 無		

## 一宮市市民活動サポート補助金申請事業に係る計画書

事業の名称	特殊詐欺対策啓発事業	一宮市市民活動サポート補助金企画提案書(様式1)と同じ事業名、期間を記入してください。
事業実施期間	2024年8月1日から 2024年11月30日まで	
事業の内容	<p>(企画した事業の内容を100字以内で簡潔に記入してください。)</p> <p>特殊詐欺の手口は、オレオレ詐欺、預貯金詐欺、架空料金請求詐欺など多岐にわたっており、その被害額が増加傾向にある。高齢者の方に演劇を交えて解りやすい特殊詐欺対策講座を催す。</p>	広報として使用できるよう、簡潔にまとめてください。
地域又は社会を取り巻く課題と現状	<p>(申請事業について、地域又は社会を取り巻く課題と現状を記入してください。)</p> <p>特殊詐欺は様々なパターンに発展している一方、その手口は巧妙で、被害者が騙されていることに気づきにくく、誰かに相談することなく被害に遭うなど特殊詐欺被害が増加している。</p>	どのような社会課題を解決することを目的としているのか、正確に伝わるように記入してください。
社会課題性	<p>(その課題の解決のために、活動する申請事業が公金の補助を充てるのに相応しい理由について記入してください。)</p> <p>啓発活動により、市民の方の危機管理意識が向上することで、犯罪被害の少ない安全な町づくりに貢献することは、公金の補助を受けて実施していくのに相応なものとする。</p>	
事業の対象者	<p>(この取組みは誰を対象にするものか、特定の人のみを対象としたものではなく、不特定かつ多数の人のために行うものであることや、この取組みが市民にとってどう有益なものになるのかといった点について記入してください。)</p> <p>この取組みは、特に被害の多い高齢者を対象に啓発活動を行う。特殊詐欺について学んでもらい、被害に遭わないことで個人の財産を守り、その結果、安心して生活できる環境を創ることは、広く市民にとって有益なものとなる。</p>	
公益性		

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4(片面印刷)とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

<p>事業実施の スケジュール (設定・手法)</p> <p>及び</p> <p>実施体制 (役割分担・協力先など)</p> <p><b>妥当性</b></p>	<p>(事業実施のスケジュールとして、具体的に何をどのように行うか、①いつ ②どこで ③何を何回 などを記入してください。)</p> <p><b>8月 チラシの作成、広報</b></p> <p><b>9月 講座の打ち合わせ</b></p> <p><b>10月～11月</b></p> <p><b>i-ビル3階シビックテラスで高齢者を対象とした啓発イベントを3回実施</b></p> <p>(事業の実施体制として、応募団体の人数やその他に協力者、協力団体など、どのような体制で事業を行うかを記入してください。)</p> <p><b>スタッフ8名で分担して事前準備を行う。</b></p> <p><b>イベント当日はスタッフ5名で演劇を行うため、ボランティアスタッフの募集を予定している。</b></p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; background-color: #fff9c4;"> <p><b>スタッフの人数や配置など、事業を行う際の実施体制を具体的に記入してください。</b></p> </div>
<p>事業実施により期待される効果</p> <p><b>実効性</b></p>	<p>(事業実施により、地域がどう変わることが期待できるのかを記入してください。)</p> <p><b>特殊詐欺について「自分は被害に遭わない」という認識を変えてもらい、個人個人が対策を講じることができるようになることで市内の特殊詐欺被害の減少が期待できる。</b></p>
<p>浮上した、あるいは想定される課題や反省点に対する改善策と事業の継続性について</p> <p><b>発展性・継続性</b></p>	<p>(これまで、事業を実施してきた中で浮上してきた課題や反省点を記入するとともに、これに対し、今後に向けてどう改善して継続させていくのか、また、一過性ではなく次年度以降も事業を継続させるための考えを記入してください。)</p> <p><b>今回のイベントで得た経験を生かして、今後も多くの高齢者を対象に活動を継続していく予定をしている。</b></p> <p><b>継続的な資金確保については課題があるため、他の公募の助成金の獲得を目指すなど事業が継続できる方法を検討していきたい。</b></p>
<p>その他、自己PR</p>	<p>(プレゼンテーション審査は行いません。この活動にかける想い、熱意が伝わるような自己PRを簡潔に記入してください。)</p> <p><b>犯罪対策を啓発することで安心して生活できる環境を育むことは、このまちの住みやすさにつながります。小さなことですが、まちづくりのために尽力し、地域社会に貢献できるよう頑張っていきます。</b></p>

様式4 (第6条第3号関係)

一宮市市民活動サポート補助金申請事業に係る収支予算書

収 入

科 目	金額(円)	内 訳
一宮市市民活動サポート補助金	91,000	<b>補助金額は、</b> ①補助対象額に補助率を乗じた額 101,200円×9/10=91,080円 と ②事業費から事業収入を引いた額 101,200円-0円=101,200円 と ③補助金額の上限 100,000円 のうち 一番少ない額で、千円未満切り捨てとなります。
当該事業における事業収入	0	
自主財源	10,200	
計	101,200	

支 出

科 目	金額(円)	うち、補助対象額(円)	内 訳※1
報償費	0	0	
旅費	0	0	
印刷製本、消耗品費	43,000	43,000	演劇材料費 30,000円、チラシ印刷費 7,000円、用紙・消耗品 6,000円
食糧費	0	0	
通信費、手数料	3,000	3,000	チラシ郵送料 84円×30箇所 振込手数料
備品費※2	0	0	
人件費	30,000	30,000	イベント当日スタッフ代 1,000円×2時間×5人×3回
使用料、賃借料	25,200	25,200	会場使用料 8,400円×3回
その他	0	0	
計	101,200	101,200	

※1 一部が「補助対象額」となる場合は、その該当分のみを( )書きで再掲してください。

例) 講師・スタッフ弁当代 @600円×5人=3,000円 (@600円×1人=600円)

※2 備品費を計上する場合は、内訳欄に購入理由も記載してください。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4(片面印刷)とする。